

まちなか図書館（仮称）意見交換会

○概要

開催日時	場所	参加人数
平成 26 年 12 月 3 日（水） 19:00～20:50	職員会館 5 階	7 名
平成 26 年 12 月 7 日（日） 14:00～16:00	こども未来館ここにこ	14 名
平成 26 年 12 月 10 日（水） 19:00～20:50	穂の国とよはし芸術劇場プラット	15 名
平成 26 年 12 月 13 日（土） 10:00～12:00	中央図書館	12 名

意見の要旨

○計画に関すること

- ・ワークショップの意見のページで“視覚、障がいのある方へのサービスの充実”の記述について、図書館が収集する資料としての視点が足りないと感じた。（手話の他に字幕資料など）計画の中では適切な表現をしてほしい。
- ・基本理念の5番目、「次代のまちづくりと中心市街地のにぎわい創出に繋げる」が大切だと考えるが、この方針は機能に反映されていないのではないかと。基本理念はとても良いので、それを基本方針にも反映して欲しい。また、機能にも「育てる」といった言葉がないので反映して欲しい。
- ・「施設整備の考え方」において、静かな空間とにぎやかな空間と明記されているが、この切り口ではない考え方もあるのではないかと。
- ・静か、にぎやかという部分は削除して欲しい。今はまだ可能性を無くす段階では無い。中央図書館とのすみわけを考え、中央を静か、「まちなかをにぎやか」であるとか、「中央をヘビーユーザー向け、まちなかを初心者」といったことも考えられる。
- ・静か、にぎやかという部分は削除しないでほしい。
- ・資料に「にぎわい」がたくさん出てくる。商業施設やカフェを想定していると思われるが、初めは人が集まるが、古くなれば飽きられないか。古くなっても愛されるのが一番大事。
- ・新しい利用者の掘り起こしは必要と考える。中年男性の利用が少ないと思われるのでビジネス支援などは有効ではないか。
- ・まちなか図書館をつくるねらいを明確に出してほしい。

○計画策定に関すること

- ・市民と業者が同じテーブルで話す場が欲しい。
- ・まちなか図書館の利用について直接市民が関わって発言でき、取り込める機会を設け

てほしい。

- ・市役所の人ともっとラフに話し合う機会を設ける動きがあっても良い。
 - ・市の中心部の事なので、市が中心となって開発して欲しい。
 - ・司書などの専門的な資格、能力を持った人の意見が反映されるといい。
 - ・プラットは長年の市民活動の中でやっとできたもの。あの作り方を見習ってほしい。
- 児童広場で活動している自主的なボランティアやスロータウン映画祭などにも意見を聞いて欲しい。
- ・自治会や他の団体にも案を出させればよい。

○施設に関すること

- ・背が低い人でも届く書棚にして欲しい。
- ・イスは足腰の悪い人でも長時間座れるものがいい。
- ・トイレは広くて使いやすいものを。
- ・女性の安全を考え、防犯カメラの設置を東側に広場が欲しい。
- ・図書館が4～5階にあったら気付かれないので図書館を目立つ大通り側に。
- ・ただ本があるだけの図書館はいや。雑誌があって待ち合わせにも使えるといい。
- ・若い人が集まる施設がいい。大学生のいく場所がなくなっている。
- ・大通り側から一目で図書館と分かるようにLEDのネオンサインを出してほしい。
- ・図書館は1階のグランドフロアーにしてほしい。

○運営に関すること

- ・“本や運営に関すること”について、しっかりと専門の人材を確保して欲しい。しっかりと力を持った人やリーダーシップを持った人に担ってってもらいたい。
- ・専門性が高い職員が必要ではないか。
- ・館長を公募するなどレベルの高いところを目指す必要がある。
- ・まちなかの情報など幅広い知識を持ったスーパー司書が必要でないか。
- ・早めに人を決めることで新しい施設の特徴が決まってくるのではないか。
- ・もっと外部からの人を入れたらよいと思う。実績のある人を外部から招く。
- ・スタッフ、司書など質のいい人がいると行きたくなる場所になる。

○その他

- ・中心市街地の拠点全体を考えることが大切。ビルが建てなおされるということに価値がある。
- ・広場の形が図書館の性格も示すと思うので、私たちも考えていきたい。
- ・まちなかの人が郊外に出て買い物をする時代になった。頭を切り替えて欲しい。
- ・少子高齢化についてもっと考えるべき。